

気仙沼観光マーケティングレポート(令和元年7月版)

◆今月のピックアップ

- ・今年から新たに調査対象に物販施設 E・F, 観光施設オが加わったことにより, 同月前年比は, 物販施設で 137.4%, 観光施設が 172.9%と大幅増となった。宿泊者数においては, 99.8%とほぼ横ばいの結果となった。
- ・上記から物販施設 E・F, 観光施設オを除いて比較した場合であっても, 同月前年比は物販施設で 128.0%, 観光施設で 111.5%であり, 観光需要は好調を維持している。
- ・アクティビティ体験において, 語り部(伝承館)が7月の「体験人数」全体の 56.1%, 「体験金額」全体の 39.8%と大きな割合を占めている。

1. 宿泊

<宿泊施設ピックアップ>

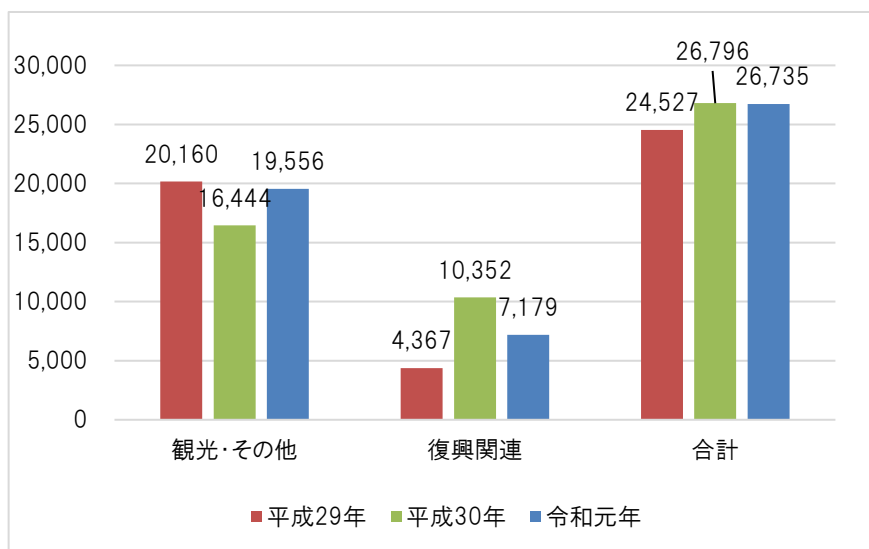
- ・宿泊者数の同月前年比は「合計」で 99.8%とほぼ横ばいの状況。「観光・その他」が 118.9%, 「観光」が 110.0%とともに増加しており, 観光客の需要は増加傾向にある。一方, 「復興関連」は 69.3%と減少している。「その他」は 134.6%と増加しており, この傾向は 1 月から続いている。
- ・宿泊施設からは「ビジネスでの利用が多く, 前年に比べ宿泊数が増えている」「大島大橋開通により, 宿泊数が大幅に伸びている」などのコメントが寄せられた。

(1) 宿泊者数

① 同月前年比

(単位:人)

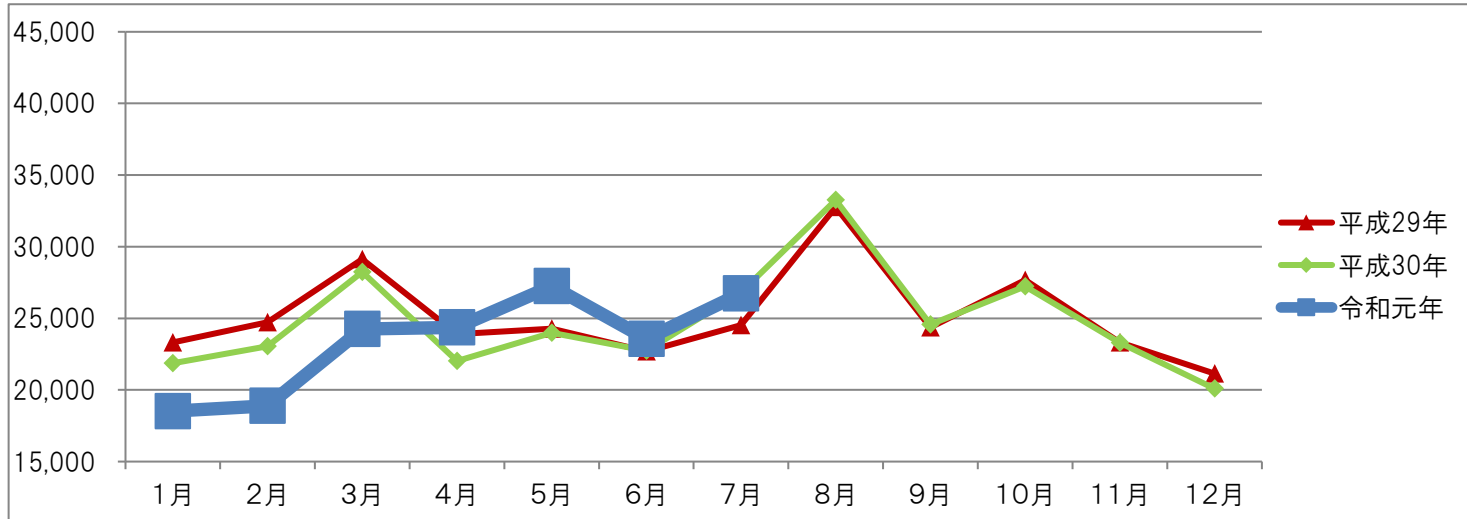
(単位:人)



宿泊者数	平成 29 年 (7 月)	平成 30 年 (7 月)	令和元年 (7 月)
観光・その他	20,160	16,444	19,556
(観光)	9,736	10,462	11,507
(その他)	10,424	5,982	8,049
復興関連	4,367	10,352	7,179
合計	24,527	26,796	26,735

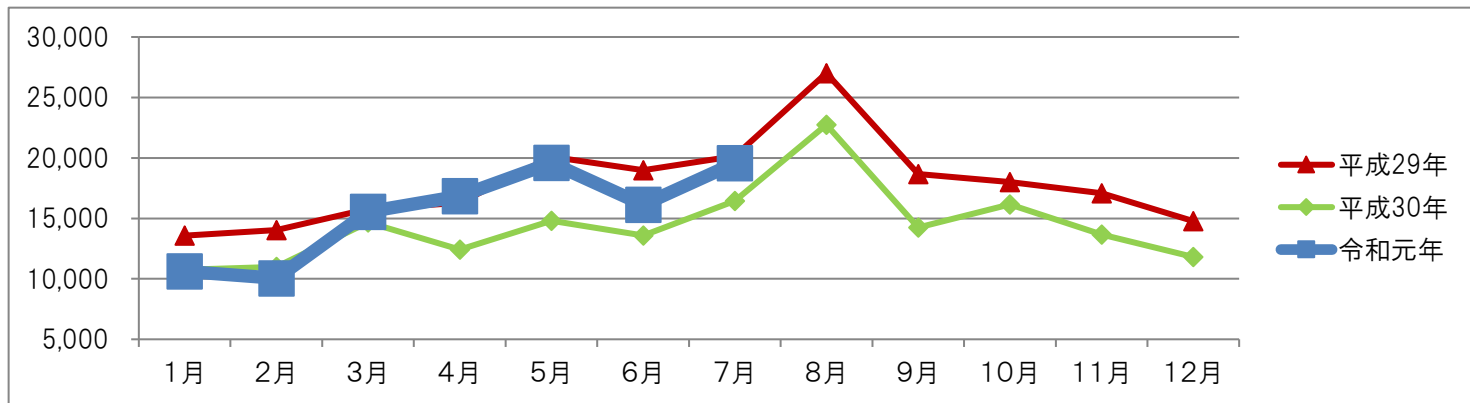
② 年間推移(合計)

(単位:人)



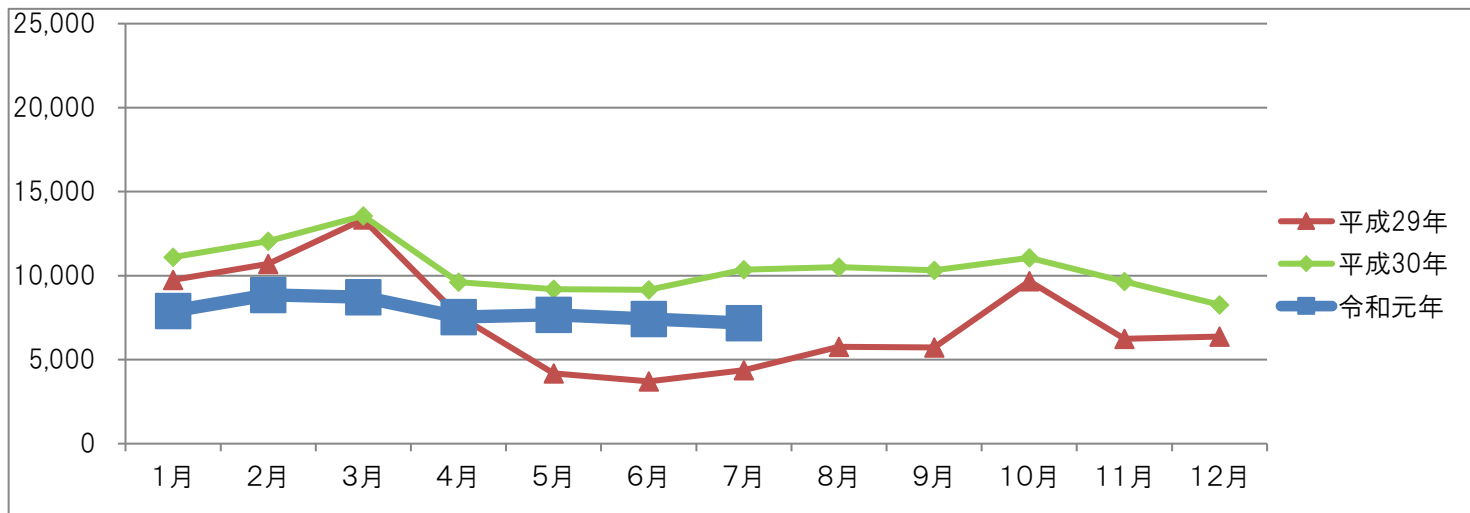
③年間推移(観光・その他)

(単位:人)



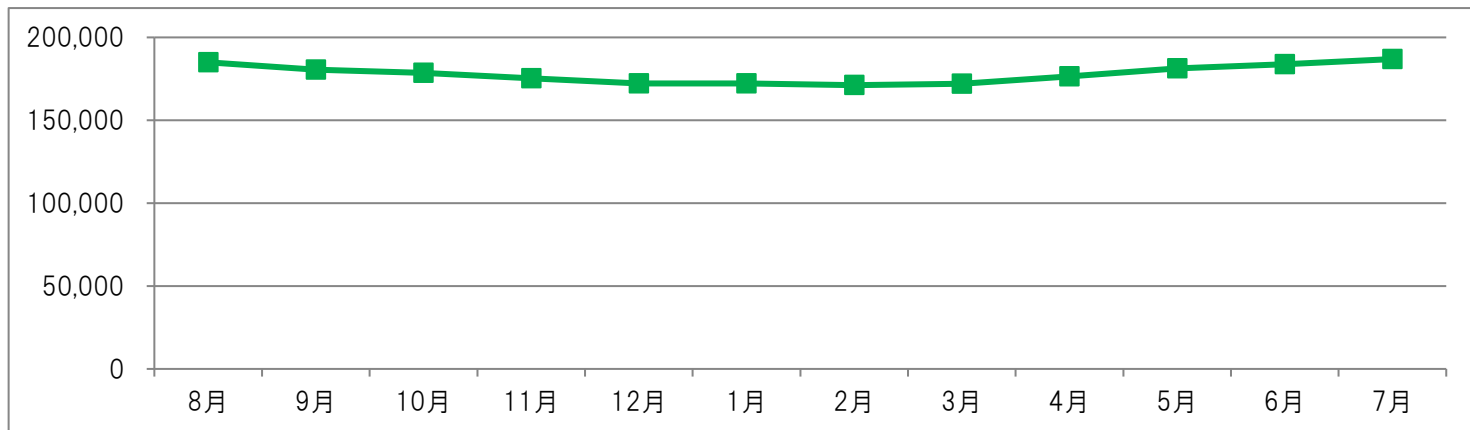
④年間推移(復興関係)

(単位:人)



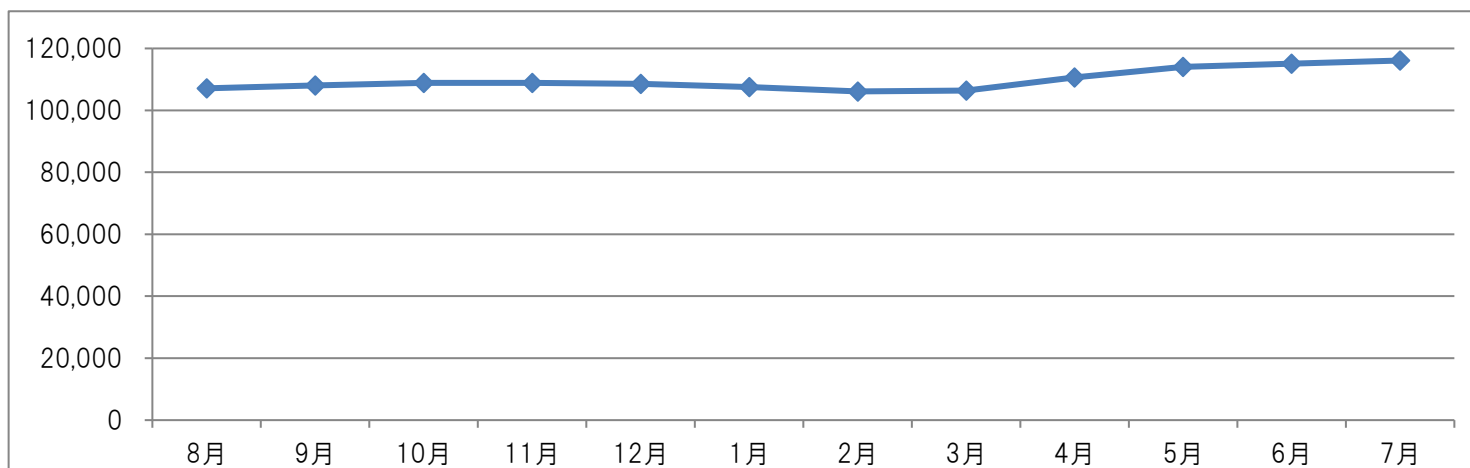
⑤移動年計(観光・その他)

(単位:人)



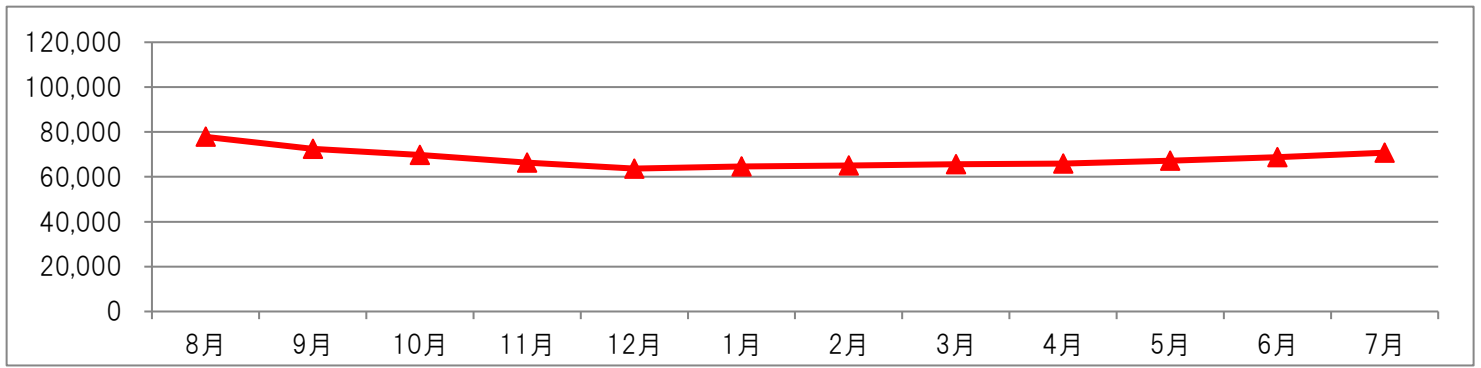
⑥移動年計(観光)

(単位:人)

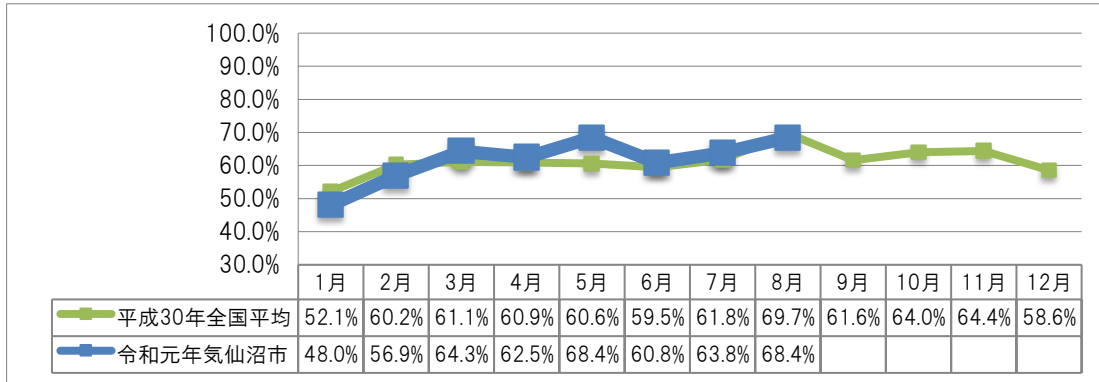


⑦移動年計(その他)

(単位:人)



(2)客室稼働率 ※平成 30 年全国平均は、観光庁宿泊旅行統計調査(平成 30 年・年間値(確定版))より <<参考データ>>



宿泊施設タイプ別 (全国平均)	平成 30 年 (7 月)
旅館	38.0%
リゾートホテル	59.4%
ビジネスホテル	75.7%
シティホテル	80.9%
簡易宿所	33.2%

2. 物販施設(レジ通過者数)

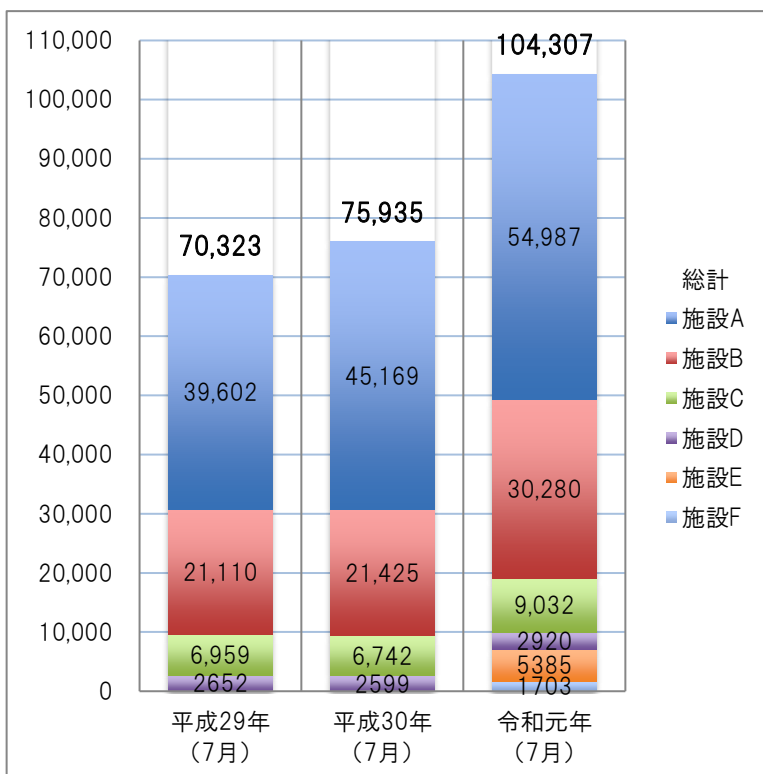
<物販施設トピックス>

- ・物販施設のレジ通過者数は施設 E, 施設 F が加わった影響もあり, 同月前年比 137.4%と増加した。各施設とも好調であり, 施設 A は 121.7%, 施設 B は 141.3%, 施設 C は 134.0%, 施設 D は 112.4%とそれぞれ増加している。
- ・施設 E, 施設 F を除いた同月前年比は 128.0%となった。
- ・物販施設からは「生鮮カツオの水揚げが始まり, それを求める観光客が増加している」などのコメントが寄せられた。

(1)同月前年比

(単位:人)

(単位:人)

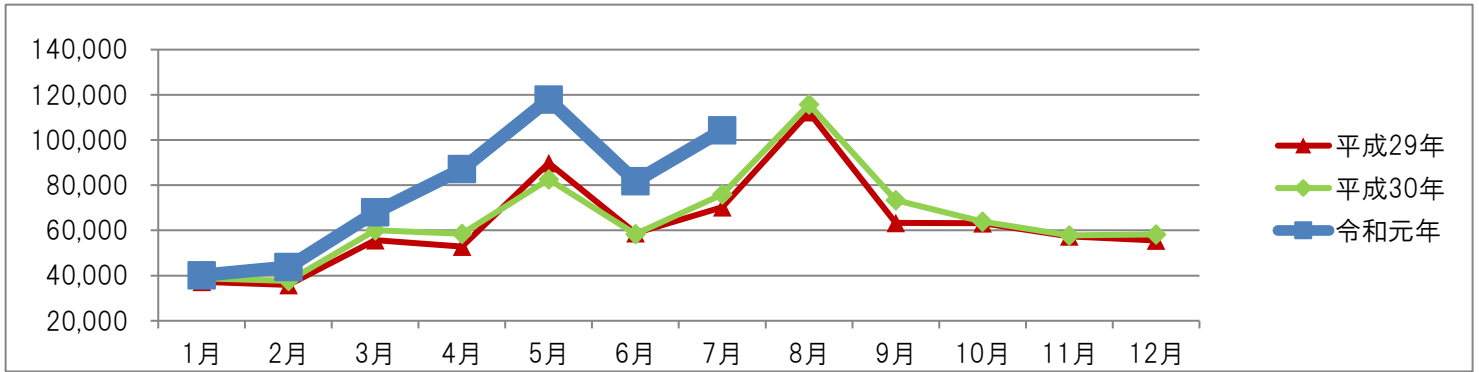


物販施設	平成 29 年 (7 月)	平成 30 年 (7 月)	令和元年 (7 月)
施設 A	39,602	45,169	54,987
施設 B	21,110	21,425	30,280
施設 C	6,959	6,742	9,032
施設 D	2,652	2,599	2,920
施設 E	(H30.11 オープン)	(H30.11 オープン)	5,385
施設 F	(R1.7 オープン)	(R1.7 オープン)	1,703
合計	70,323	75,935	104,307

※令和元年 6 月より施設 E を, 同年 7 月より施設 F を, 調査対象に追加している。

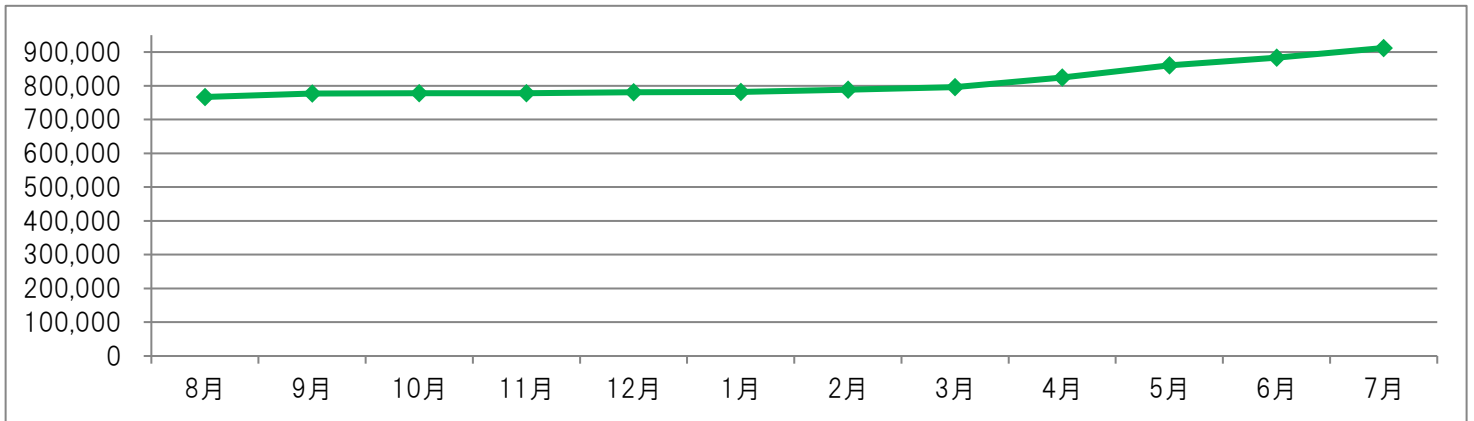
(2)年間推移

(単位:人)



(3)移動年計

(単位:人)



3. 観光施設(利用人数)

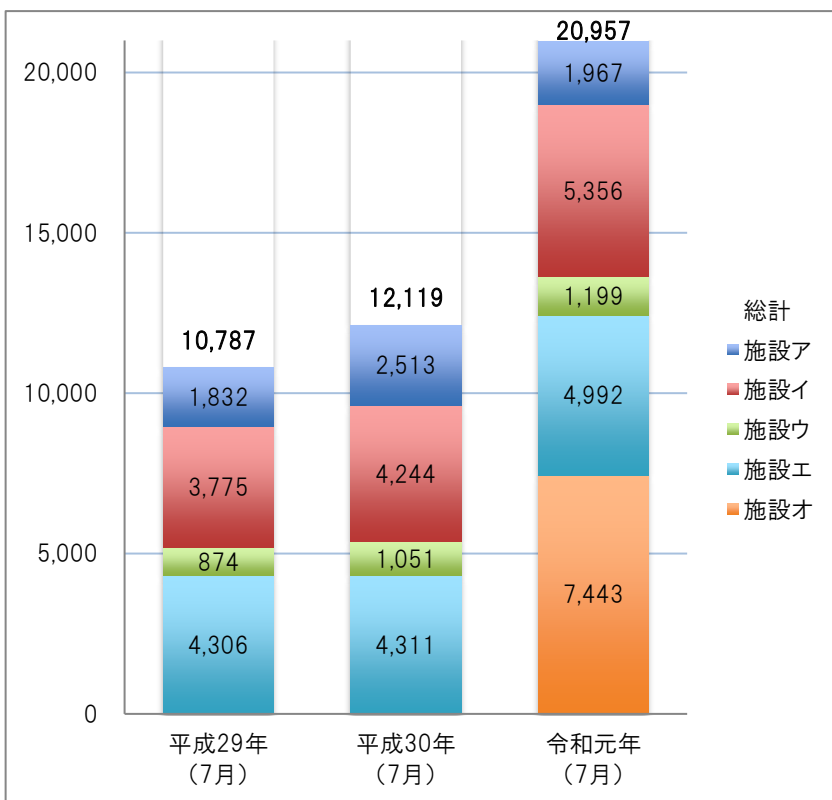
<観光施設ピックアップ>

- ・観光施設の利用者数は施設オの開館の影響もあり、同月前年比 172.9%の大幅増となった。施設イが 126.2%，施設ウが 114.1%，施設エが 115.8%とそれぞれ増加している。施設アは 78.3%と減少した。
- ・施設オを除いた同月前年比は 111.5%となった。

(1)同月前年比

(単位:人)

(単位:人)

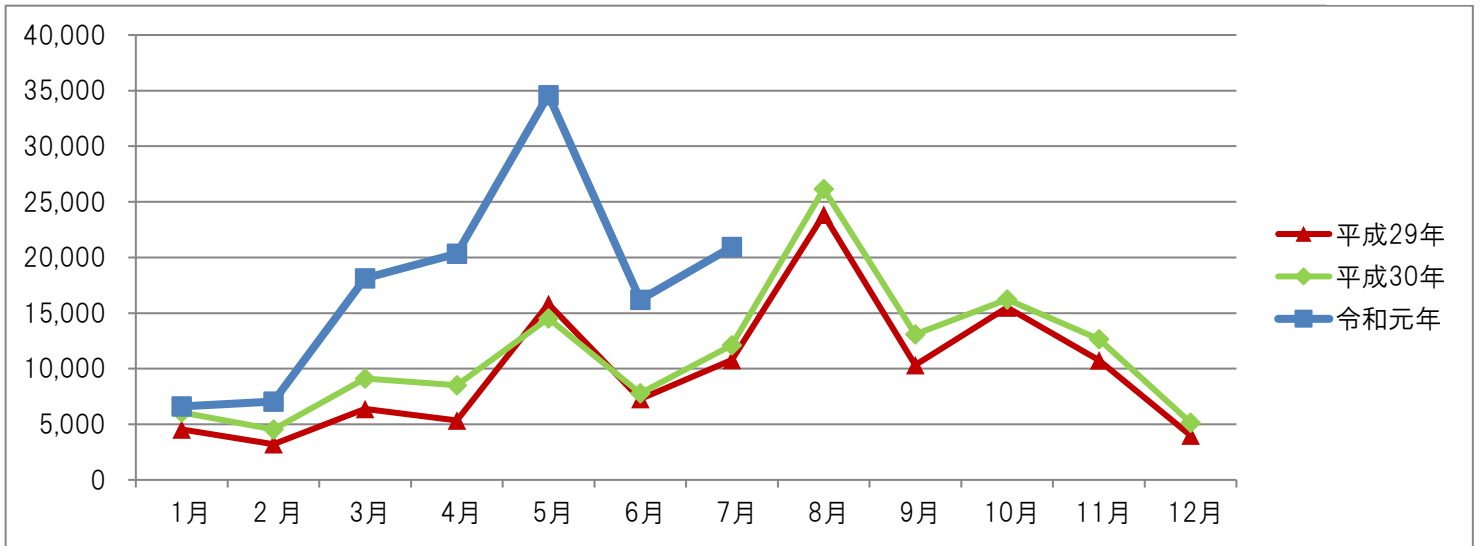


観光施設	平成 29 年 (7月)	平成 30 年 (7月)	令和元年 (7月)
施設ア	1,832	2,513	1,967
施設イ	3,775	4,244	5,356
施設ウ	874	1,051	1,199
施設エ	4,306	4,311	4,992
施設オ	(H31.3 開館)	(H31.3 開館)	7,443
合計	10,787	12,119	20,957

※令和元年 6 月より、観光施設の表記は従来のアルファベットからカタカナに変更している。

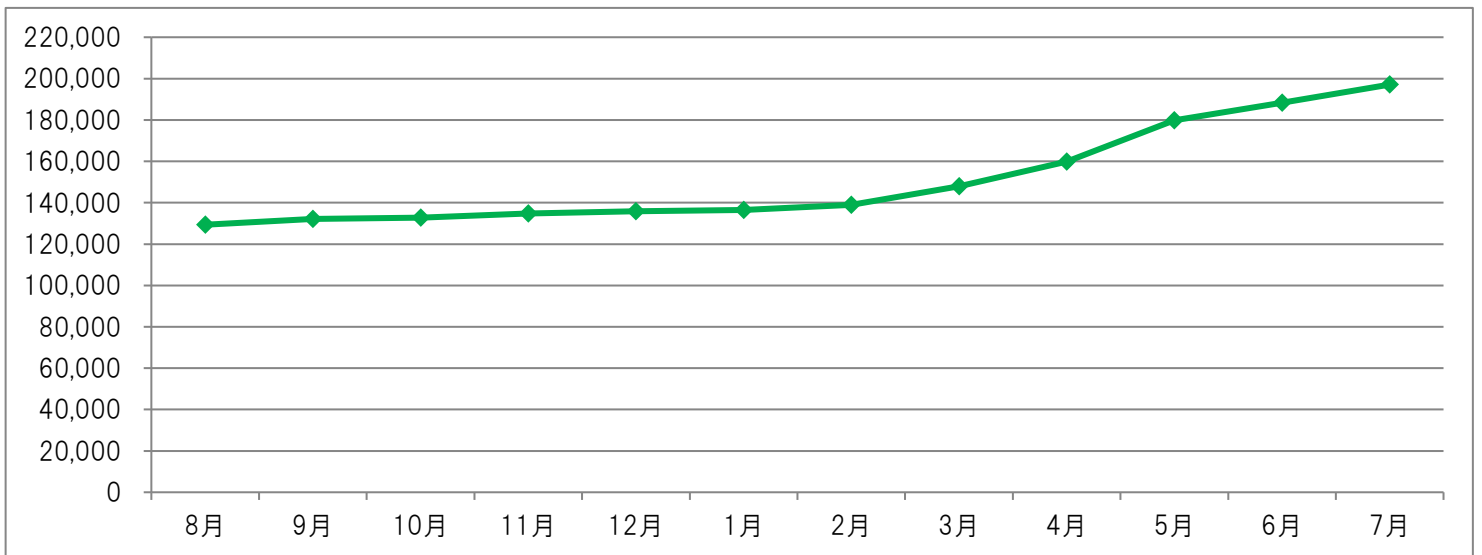
(2)年間推移

(単位:人)



(3)移動年計

(単位:人)



4. アクティビティ体験

<アクティビティ体験トピックス>

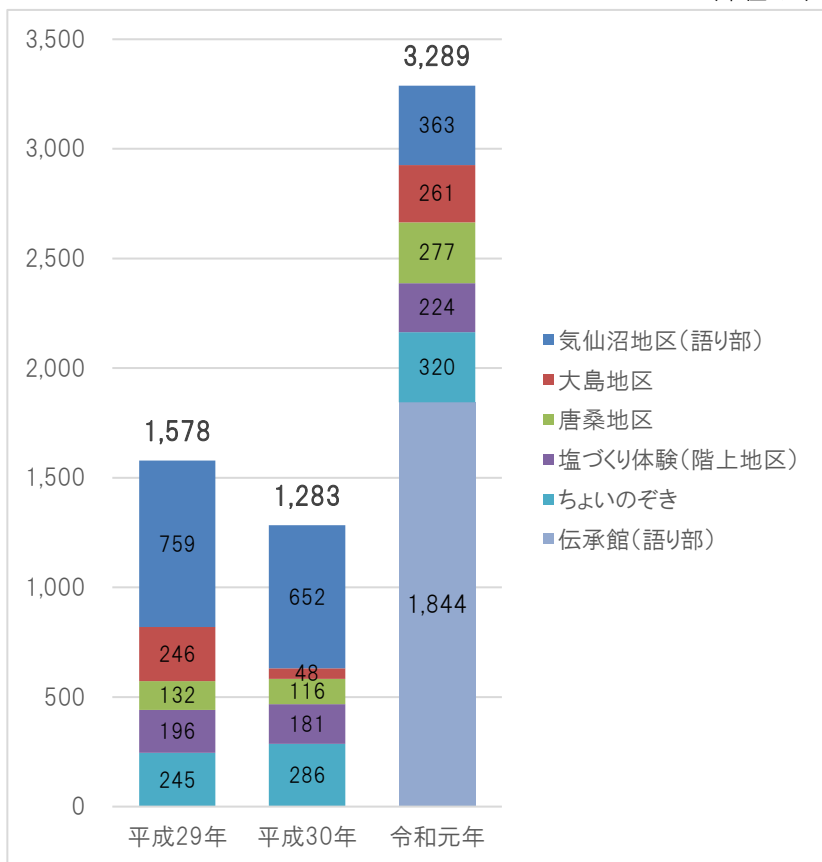
- ・同月前年比は語り部(伝承館)の影響もあり、「体験人数」で256.4%、「体験金額」で170.2%の大幅増となった。
- ・語り部(伝承館)を除いた同月前年比は「体験人数」で112.6%、「体験金額」で102.6%の増加となった。
- ・地区ごとの同月前年比をみると、唐桑地区ではオルレ・みちのくトレイルのガイドやカキ養殖体験が好調で、「体験人数」が238.8%、「体験金額」が212.6%と前年の2倍以上となっている。大島地区もカヤックやびん玉づくりに加え、大島大橋が開通したことにより島内ガイドが好調で、「体験人数」が543.8%、「体験金額」が139.4%と増加している。一方、語り部(伝承館)が好調な半面、語り部(観光協会)は「体験人数」で55.7%、「体験金額」で47.0%と減少している。

(1) 体験人数

① 同月前年比

(単位:人)

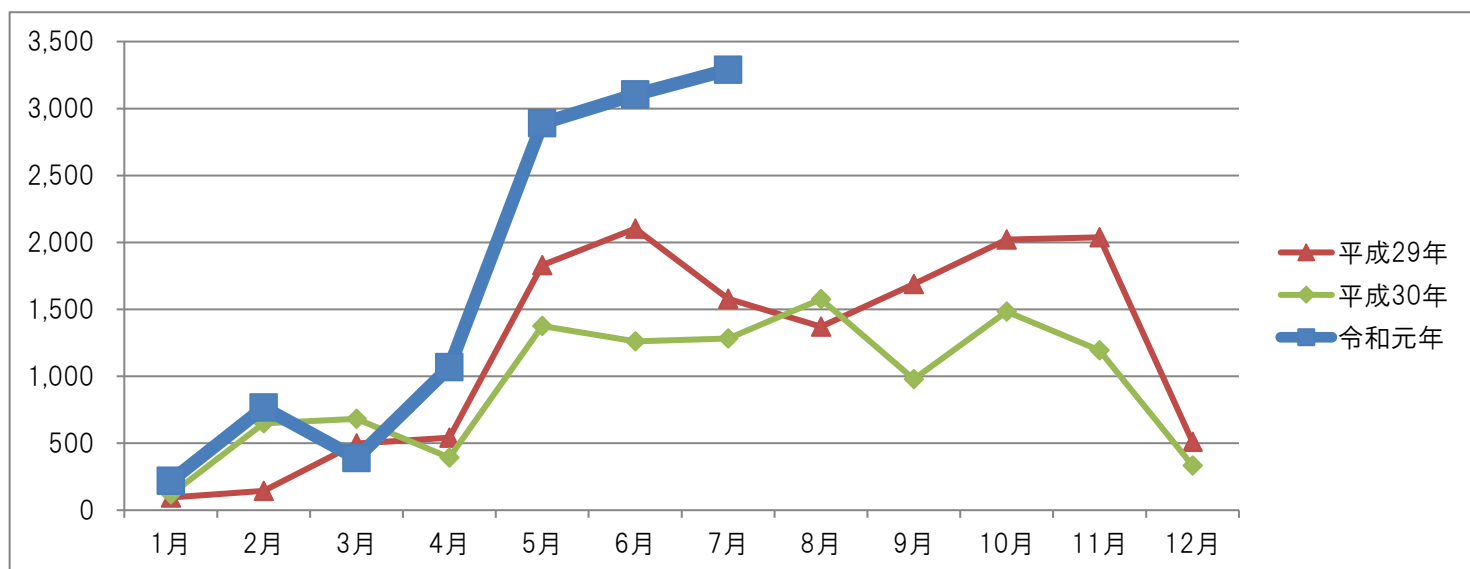
(単位:人)



アクティビティ	平成29年 (7月)	平成30年 (7月)	令和元年 (7月)
語り部 (観光協会)	759	652	363
大島地区	246	48	261
唐桑地区	132	116	277
塩づくり体験 (階上地区)	196	181	224
ちよいのぞき	245	286	320
語り部(伝承館)	(H31.3 開館)	(H31.3 開館)	1,844
合計	1,578	1,283	3,289

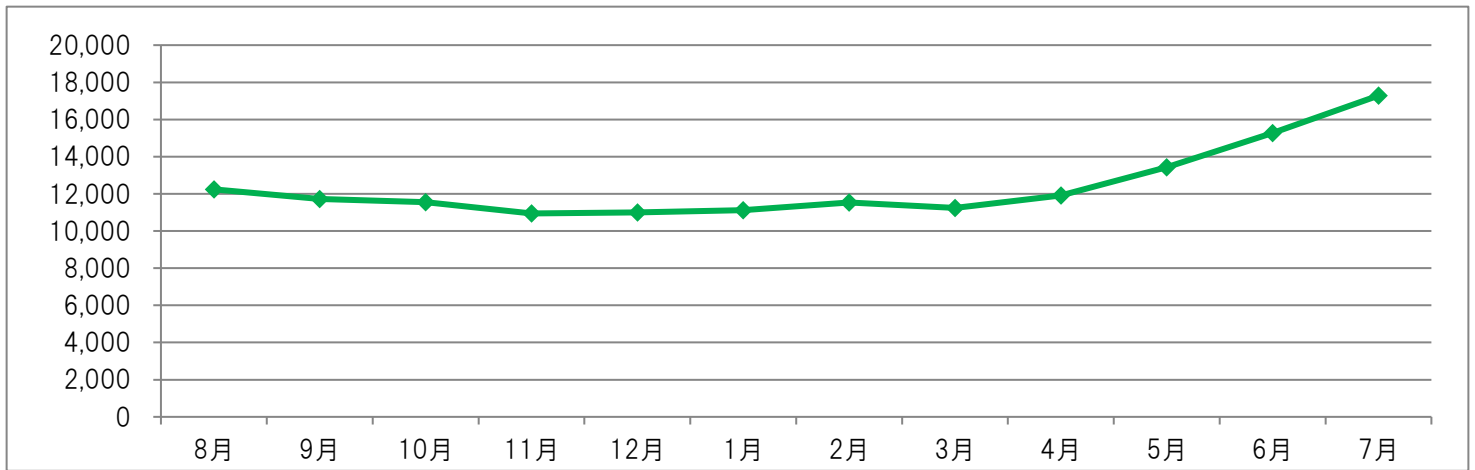
② 年間推移

(単位:人)



③移動年計

(単位:人)

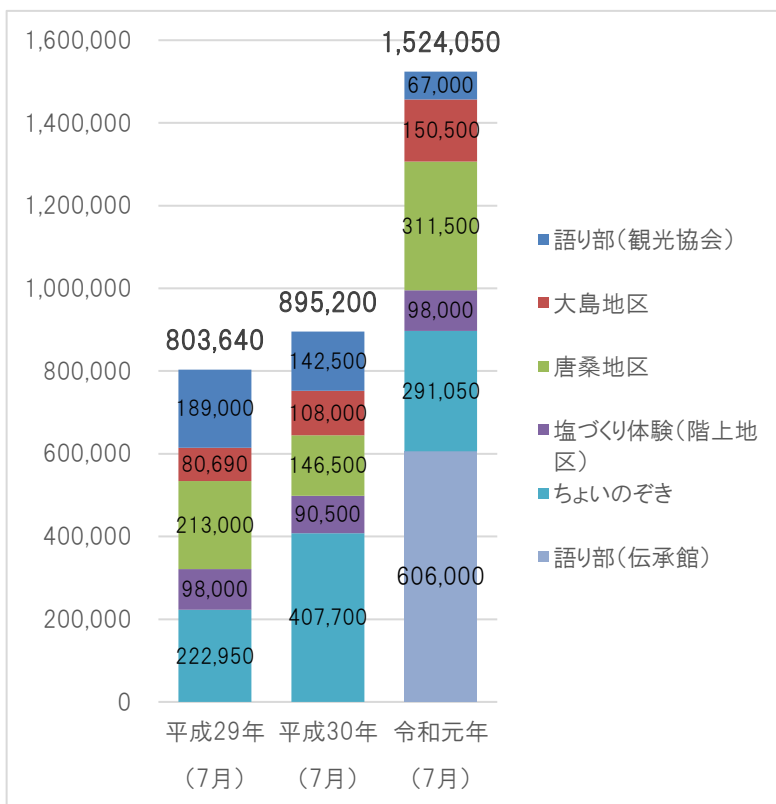


(2)体験金額

①同月前年比

(単位:円)

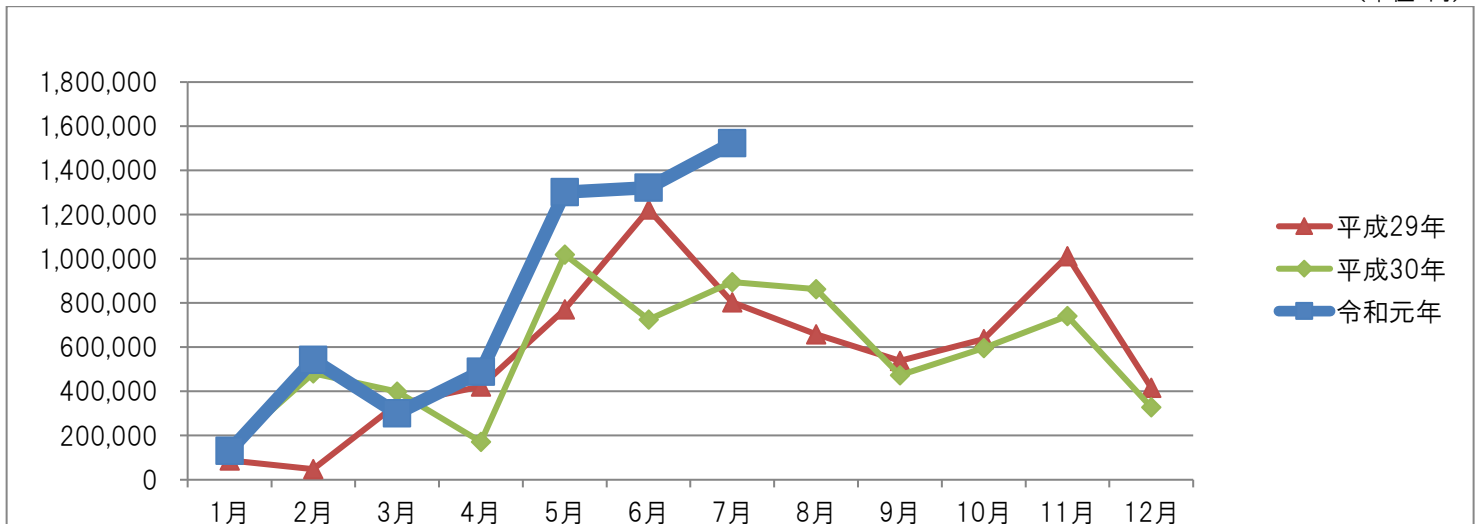
(単位:円)



アクティビティ	平成 29 年 (7 月)	平成 30 年 (7 月)	令和元年 (7 月)
語り部 (観光協会)	189,000	142,500	67,000
大島地区	80,690	108,000	150,500
唐桑地区	213,000	146,500	311,500
塩づくり体験 (階上地区)	98,000	90,500	98,000
ちよいのぞき	222,950	407,700	291,050
伝承館(語り部)	(H31.3 開館)	(H31.3 開館)	606,000
合計	803,640	895,200	1,524,050

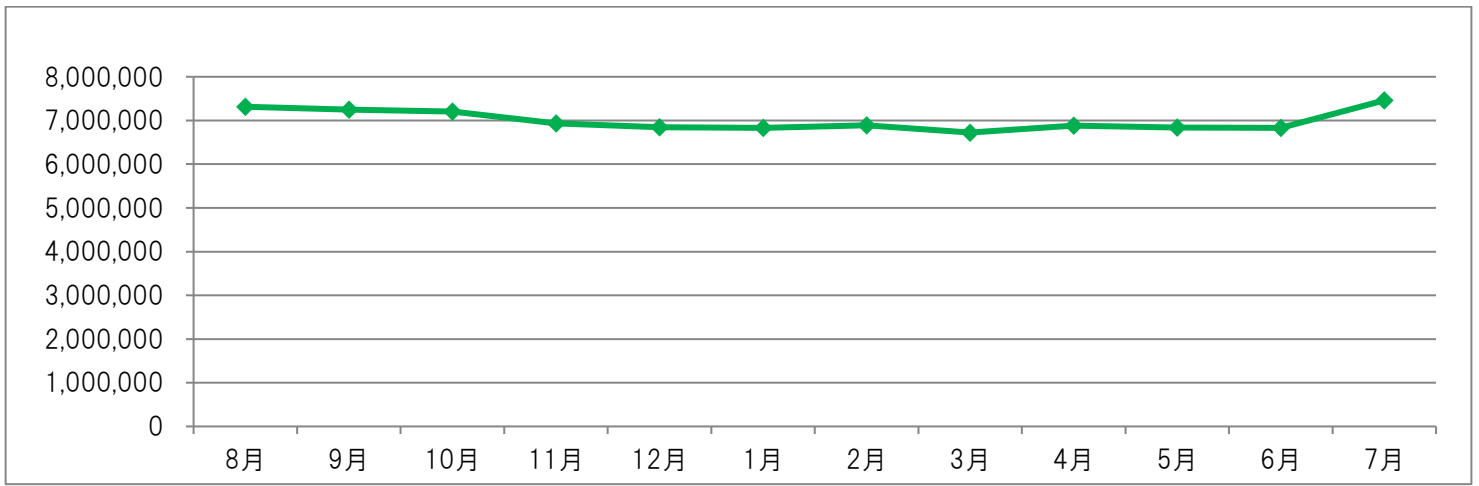
②年間推移

(単位:円)



③移動年計

(単位:円)



5. 観光案内所

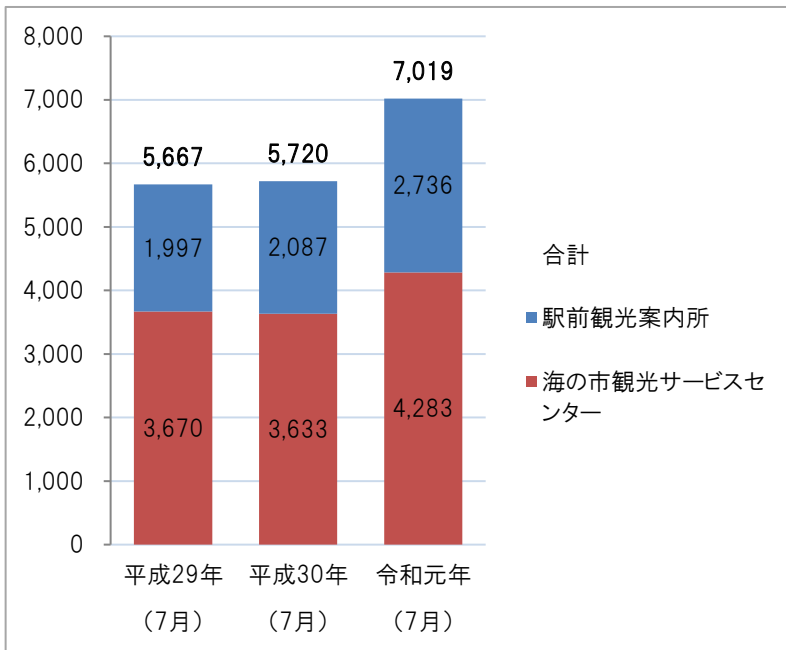
<観光案内所トピックス>

- ・7月の観光案内所利用人数は同月前年比 122.7%と増加。駅前観光案内所は 131.1%，海の市観光サービスセンターが 117.9%となり，駅前案内所の増加が目立った。
- ・駅前観光案内所は土・日曜日の利用者数の増加に加え，夏休みに入った7月後半の利用者数が大きく伸びた。
- ・4月に開通した大島大橋の認知度が高く，大島への観光客や遊覧船を目当てに訪れた方が多かったと思われる。

(1) 利用人数(同月前年比)

(単位:人)

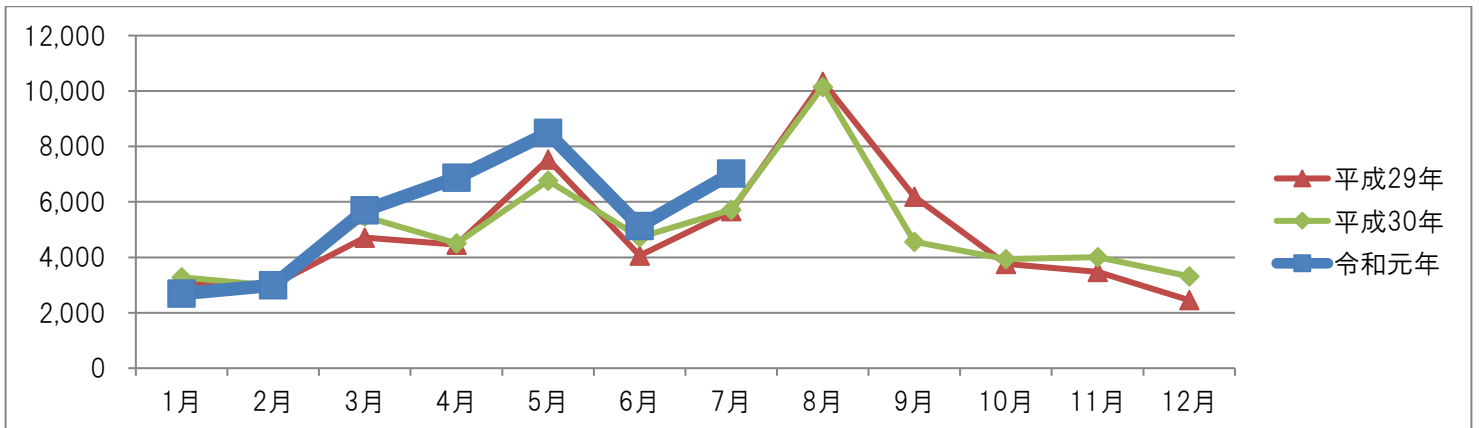
(単位:人)



観光案内所	平成29年 (7月)	平成30年 (7月)	令和元年 (7月)
駅前観光案内所	1,997	2,087	2,736
海の市観光サービスセンター	3,670	3,633	4,283
合計	5,667	5,720	7,019

(2) 年間推移

(単位:人)



(3) 移動年計

(単位:人)

